

第 61 卷 第 7 号

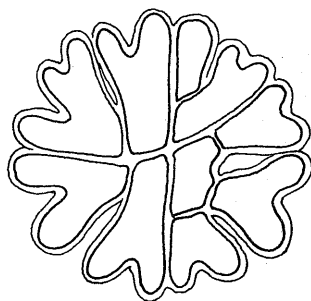
(通卷第 701 号)

Vol. 61 No. 7

# 植 物 研 究 雜 誌

## THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

昭 和 61 年 7 月 July 1986



津 村 研 究 所

Tsumura Laboratory

TOKYO

昭和二十六年四月十三日  
昭和六十一年七月十五日印刷  
昭和六十一年七月二十日發行  
第三種郵便物認可  
(毎月二十日発行)

目 次

井上 健：ラン科ツレサギソウ属の分類学的研究 (1) ブータンおよび中国産ツレサギソウ属の 2 新種..... 193

山崎 敬・門田裕一：北海道産ゲンゲ属の 1 新種..... 199

大場秀章・K. R. ラジバンダリ：ネパールで新たに見出されたイワベンケイ属 3 種 205

太田茂樹・三橋 博・田中隆荘：日本産ミシマサイコの異数性的変異..... 212

T. プライア・D. サラダ：*Boerhavia erecta* L. (オシロイバナ科)の胚学的研究..... 217

新 刊.....198, 224

Contents

Ken INOUE: Notes on Asiatic species of *Platanthera* (Orchidaceae) (1) Two new species of *Platanthera* from Bhutan and China ..... 193

Takasi YAMAZAKI & Yuichi KADOTA: A new species of *Astragalus* from Hokkaido, Japan ..... 199

Hideaki OHBA & K.R. RAJBHANDARI: Three species of *Rhodiola* (Crasulaceae) new to Nepal ..... 205

Shigeki OHTA, Hiroshi MITSUHASHI & Ryuso TANAKA: Aneuploidal variation in *Bupleurum falcatum* L. from Japan..... 212

T. PULLAIAH & D. SARADA: Embryology of *Boerhavia erecta* L. (Nyc-taginaceae) ..... 217

Book review....198, 224

[表 紙] 海産緑藻ウルベラ (ウルベラ目) の発芽体。最近, 養殖アワビ幼生の好適餌料として注目を浴びてきた。(千原光雄)

[Cover] Germling of *Ulvella* sp. (Ulvellales, Chlorophyceae). This alga has recently been used as food for the cultured larvae of abalone. (Mitsuo CHIHARA)

## 投稿規定

1. 論文の投稿者は原則として本誌1年以上の購読者であること。
2. 文章は簡潔に書くこと。
3. 論文の脚注に著者の勤務先（勤務されていない場合は住所）とその欧文訳を付記すること。また、継続論文は脚注に前報掲載の誌名、巻数、頁、年号を入れること。
4. 本論文と雑録の著者名にはローマ字綴りを、題名は欧和両文で付けること。
5. 和文原稿は平がな交じり、横書のこと。植物和名には片かなを用い、なるべく400字詰の原稿用紙を用いること。欧文原稿は“一行あき”にタイプすること。
6. 和文の本論文には欧文の、欧文のそれには和文の簡単な摘要をつけること。
7. 原図には必ず倍率を表示し、図中の記号、数字には活字を貼り込むこと。原図の説明文は2部を作製し、1部はたやすく剝がすことができるように貼っておくこと。図は刷上りで頁幅か又は図の側方に10字以上のあきが必要である。
8. アート紙使用のプレートについては実費を著者で負担のこと。
9. 登載する順序や体裁は編集部にお任せのこと。活字の指定は編集部ですが、特に希望される個所があれば鉛筆で記入のこと。
10. 投稿者は必要とする別刷数（50の倍数）を原稿に明記すること。本論文に限りそのうち50部は無料、それ以上は著者負担のこと。
  - a. 希望される別刷の部数は論文原稿に明記のもの以外は引き受けない。
  - b. 雑録の別刷は1頁以上のもので実費を著者が負担する場合に限って作成する。
  - c. 著者の負担する別刷の代金は印刷所から直接に請求するので印刷所へ御送金のこと。御送金の後に別刷を郵送する。
11. 送稿の際には住所と郵便番号とを明記すること。
12. 送稿や編集に関係した通信は 〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町吉原 3586 津村研究所、岡田 稔あてのこと。

## 編集員

### Members of Editorial Board

原 寛 (Hiroshi HARA)

編集員代表 (Editor in chief)

千 原 光 雄 (Mitsuo CHIHARA)	井 上 浩 (Hiroshi INOUE)
伊 藤 洋 (Hiroshi ITO)	金 井 弘 夫 (Hiroo KANAI)
木 村 陽 二 郎 (Yojiro KIMURA)	木 村 雄 四 郎 (Yushiro KIMURA)
小 林 義 雄 (Yosio KOBAYASHI)	黒 川 遣 (Syo KUROKAWA)
三 浦 宏 一 郎 (Koichiro MIURA)	大 橋 広 好 (Hiroyoshi OHASHI)
岡 田 稔 (Minoru OKADA)	津 山 尚 (Takasi TUYAMA)
山 崎 敬 (Takasi YAMAZAKI)	

### 代 金 払 込

- 1) 本誌代価普通号1部 550円, 増大号は別に定めます。
- 2) 1ヶ年分 6,000円 (送料別)。
- 3) 代金払込は, 〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町吉原 3586 津村研究所 (振替 東京 8-1680) あてにお送り下さい。

Overseas annual subscription rates: 8,500 yen including postage.  
Payment in Japanese currency only.

---

All communications to be addressed to the Editor  
**Minoru Okada**

Tsumura Laboratory, 3586, Yoshiwara, Ami-machi, Inashiki-gun,  
Ibaraki-ken, 300-11 Japan

---

昭和61年7月15日印刷  
昭和61年7月20日発行

編集兼発行 岡 田 稔

印刷者 富 田 潔  
〒176 東京都練馬区豊玉北2の13

印刷所 学術図書印刷株式会社  
〒176 東京都練馬区豊玉北2の13  
電話 (991) 3754番

発行所 津 村 研 究 所  
〒300-11 茨 城 県 稲 敷 郡 阿 見 町 吉 原 3586  
(振替 東京 8-1680)  
電話 0298(89)2121番

定 価 550 円
不 許 複 製